

◆ 自社国内製造

当社の植毛綿棒は、製造・包装・滅菌から検査までの全工程を国内の自社工場で行っております。また、植毛(パイ)ル)や軸などの原料は全て国内製造品です。日本製による品質の高さはもちろんのこと、海外品に比べてリードタイムの短縮や、小ロット対応が可能です。また、国際情勢や為替による調達価格変動に影響されない点も魅力の一つです。

◆ 製品仕様

1. メディクスワブ 植毛綿棒NA01 鼻咽頭用

主に鼻腔(鼻咽頭)拭い液採取用の綿棒です。

採取部には、ナイロンを使用しています。

被験者の身体的負担を減らす為に、軸の挿入部分は、細く・適度に曲がるように設計してあります。

綿棒のサイズ
全長 : 151mm
綿球長 : 17mm
綿球径 : 3mm

2. メディクスワブ 植毛綿棒NA02 鼻咽頭用 BP100

主に鼻腔(鼻咽頭)拭い液採取用の綿棒です。

採取部には、ナイロンを使用しています。

被験者の身体的負担を減らす為に、軸の挿入部分は、細く・適度に曲がるように設計してあります。

検体採取後に軸を折り切る為のブレイクポイント(折り曲げ溝)が綿球先端から98.5mmの部分に設けられています。

綿棒のサイズ
全長 : 151mm
綿球長 : 17mm
綿球径 : 3mm
ブレイクポイント
までの長さ : 98.5mm

3. メディクスワブ 植毛綿棒NA01 輸送チューブ付 鼻咽頭用

主に鼻腔(鼻咽頭)拭い液採取用の綿棒です。

採取部には、ナイロンを使用しています。

被験者の身体的負担を減らす為に、軸の挿入部分は、細く・適度に曲がるように設計してあります。

検体採取後の綿棒を格納及び輸送できるチューブがセットになっています。チューブに入れることで検体採取後の綿棒を安全に輸送できます。

綿棒のサイズ
全長 : 156mm
綿球長 : 17mm
綿球径 : 3mm
輸送チューブ
材質 : ポリエチレン
外形寸法 : Φ12×165mm

4. メディクスワブ 植毛綿棒PH01 咽頭用 BP80

主に咽頭拭い液採取用の綿棒です。

採取部には、ナイロンを使用しています。

被験者の身体的負担を減らす為に、軸の挿入部分は、適度に曲がるように設計してあります。

検体採取後に軸を折り切る為のブレイクポイント(折り曲げ溝)が綿球先端から80mmの部分に設けられています。

綿棒のサイズ
全長 : 148mm
綿球長 : 17mm
綿球径 : 4.5mm
ブレイクポイント
までの長さ : 80mm

個包装

図に示したようにフィルムで1本ずつ包装されています。

化粧箱

製品名	コード	入数	個包装 幅×高さ[mm]	化粧箱 幅×奥行×高さ[mm] 重量[g]	外箱 幅×奥行×高さ[mm] 重量[kg]	JANコード	医療機器届出番号
メディクスワブ 植毛綿棒 NA01 鼻咽頭用	4968	100本×10箱	190×50	210×110×85 190	570×225×190 2.2	4976558003762	21B2X10012000052
メディクスワブ 植毛綿棒 NA02 鼻咽頭用 BP100	4969	100本×10箱	190×50	210×110×85 190	570×225×190 2.2	4976558003779	21B2X10012000053
メディクスワブ 植毛綿棒 NA01 輸送チューブ付 鼻咽頭用	4979	20本×10箱	220×70	210×110×85 180	570×225×190 2.0	4976558003953	21B2X10012000056
メディクスワブ 植毛綿棒 PH01 咽頭用 BP80	4970	100本×10箱	190×50	210×110×85 210	570×225×190 2.4	4976558003786	21B2X10012000054

当社ラインナップ品の購入、または、OEMに関しては、下記よりお気軽にお問合せ下さい。

平和メディック株式会社 <https://www.heiwamedic.com/>

本社 〒506-0041 岐阜県高山市下切町180番地 TEL 0577-33-0511 FAX 0577-33-0819
 東京営業所 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1丁目9番11号 石川COビル202号 TEL 03-3258-0966
 大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目7番4号 新大阪生原ビル201号 TEL 06-6307-1666

FLOCKED SWAB

植毛綿棒

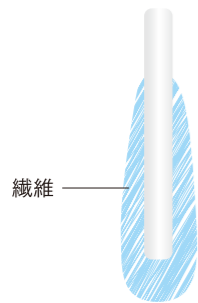


植毛綿棒とは

植毛綿棒とは、ナイロン短繊維を軸の先端に垂直に被覆(植毛)させた先端部と持ち手の軸部から構成される検体採取用具です。

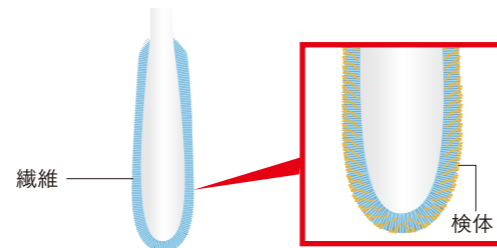
軸の先に綿を巻きつけた従来型のスワブに比べて、検体が表面に留まるため、リリース性が良く、より少量の検体でも感度よく検査できることが期待されます。

巻きつけタイプ



綿などの繊維を巻きつけた従来型のスワブは、検体を内部に捕捉してしまうため、採取性能に限りがあります。

植毛タイプ

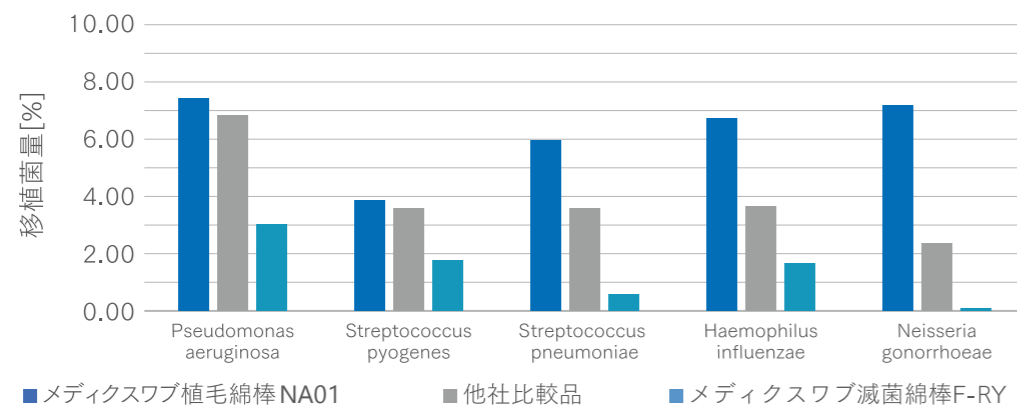


検体がブラシ上の先端部と接触すると毛細管現象により即時に綿球表面に捕捉されます。捉えられた検体は吸着されることなく表面に留まるため、外部の刺激により効果的にリリースされます。

検体採取性能

CLSI(臨床・検査標準協会)が規定した試験方法^{[1],[2]}を参考に、植毛タイプのメディクスワブ植毛綿棒NA01と他社比較品および巻き付けタイプのメディクスワブ滅菌綿棒F-RYの検体採取性能(移植可能な菌量)を比較したところ、巻き付けタイプより良好かつ、植毛タイプの他社比較品と同等以上の性能が確認されました。

各綿棒の検体採取性能 (移植可能な菌量)



【試験方法概要】

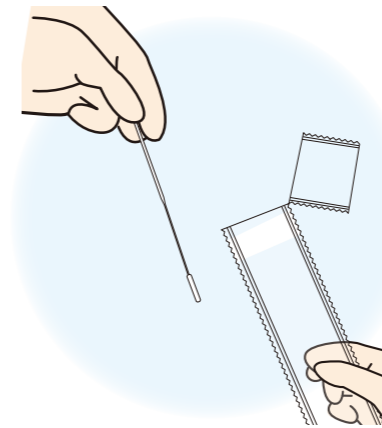
- ①各菌種について適切な培養条件で菌液調整し、この10倍希釈系列を作製する。
- ②これらの菌液各々に被検綿棒を浸して15秒間静置する。
- ③滅菌生理食塩水中に洗い出し、管壁を使い綿棒から可能な限り菌液を絞り出す。
- ④この菌液を菌数測定用培地に滴下して、適切な条件にて培養し、発育集落数をカウントする。
- ⑤調製菌液に対して綿棒によって移植された菌量の割合を算出して評価する。

[1] Clinical and Laboratory Standards Institute. 2014. Quality control of microbiological transport systems; approved standard 2nd ed. CLSI document M40 A2. Clinical and Laboratory Standards Institute, Wayne, PA.

[2] Clinical and Laboratory Standards Institute. 2003. Quality control of microbiological transport systems; approved standard M40 A. CLSI document M40 A. Clinical and Laboratory Standards Institute, Wayne, PA.

使用方法

1



先端部を汚染しないように植毛綿棒を個包装から取り出します。

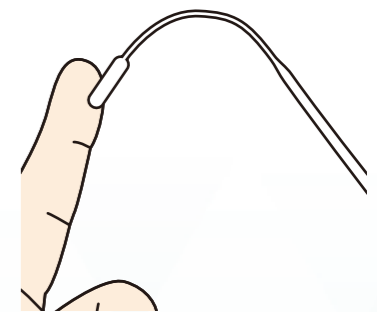
2



各種検査の検体採取に使用します。植毛綿棒は主に鼻腔、鼻咽頭の検体採取用に適しています

被検者にやさしい軸設計

検体採取時の被検者の負担を低減するために、鼻に挿入する部分が細くフレキシブルな軸を採用しました。素材には、靱性・引張強度に優れており、耐薬品性の高いナイロンを使用しています。



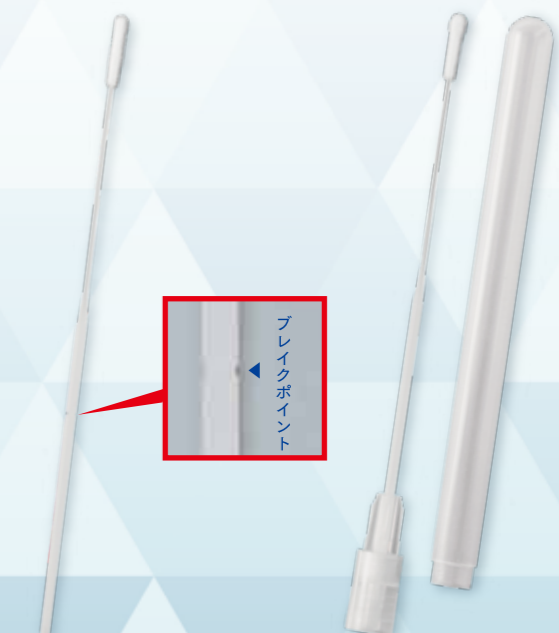
滅菌済

植毛綿棒は開封時まで滅菌保証された製品です。被検者の感染リスクを低減させるだけでなく、スワブの微生物汚染による検査感度の低下のリスクも低減します。医療機器製造業を取得し、GMS省令に準拠して厳密に管理された自社工場での滅菌を行っています。

ラインナップ

植毛綿棒には、液体培地に溶出させた後に軸を折ることができるブレイクポイント付きの製品や検体採取後のスワブを輸送するためのドライチューブ付きの製品など、様々なラインナップの製品を取り揃えています。

ご要望に応じて、先端の形状やブレイクポイントの位置などをカスタマイズすることが可能です。お気軽にお問い合わせください。



ブレイクポイント付

輸送チューブ付